



県政最前線①／移住定住特集

未来へつなぐ 地域を創る

けんちよういじゅうていじゅうすいしんか
県庁移住定住推進課 ☎073-441-2930



のどかな里山風景が広がる
古座川町平井地区



※昭和合併前の旧町村や小学校区などを想定

ふるさと生活圏とは
過疎地域などにおいて、日常生活サービスを受けることのできる基幹集落とその周辺で一体性を保つ集落からなる単位をいいます。

和歌山県には、自然豊かで温暖な気候、人情味のある県民性など、田舎暮らしの魅力が溢れています。

しかし、人口減少や高齢化が深刻な地域では活動の担い手が不足し、産業・福祉・買い物などの生活を支えるコミュニティ機能の維持が困難になり、地域の活力低下が懸念されています。

地域の活力を維持するため、県では、「ふるさと生活圏」単位で、住民が主体となった地域づくりを支援するとともに、新たな担い手を呼び込む移住施策を推進することで、未来へつなぐ地域づくりに取り組んでいます。

地域の力を高める

地域の担い手不足がもたらす、さまざまな課題を解決していくには、住民が主体となって話し合い、自ら取り組んでいくことが重要です。

また、地域外からの人材とも協力して取り組むことで、より良い地域づくりが可能となります。

地域の活動を全力で応援

県では、「過疎集落支援総合対策」として、「ふるさと生活圏」が抱える課題とその対策について、住民が話し合うための場である「寄合会」を設け、その話し合いの中で決まった住民主体の活動を支援しています。これまで40の生活圏(22市町村)で取り組まれています。

自治会・各種団体などで、地域の活性化に取り組んでみたいと考えている場合は、市町村または県振興局企画産業課へご相談ください。



「七川らしさ」を見つめ直して一緒に磨いていきます！

地域おこし協力隊(古座川町)

七川には、みんなで楽しめるいろんな魅力がたくさん！



横溝 秀文 さん 谷井 麻美 さん

地域おこし協力隊

田舎暮らしや地域社会への貢献に関心のある都市住民が、県内市町村に移住して、地域おこしに取り組んでいます。活動内容は、イベントの企画・運営、農林水産業への従事、特産品の開発・PRなどさまざまで、隊員の熱意と行動力が地域に大きな影響を与えています。

また、任期終了後も県内で就職や起業する隊員も多く、地域の担い手として活躍しています。



買い物バスの運用で便利に



名所づくりのために桜を植樹



地域の活動交流拠点が憩いの場に

私たちの活動

七川生活圏の取組(古座川町)

七川生活圏では、65歳以上の高齢者が7割を占める高齢化が進行した地域であり、遠方までの車の運転が困難になるなど、日常生活に不便を感じている住民が増加していました。

そこで、住民同士が支え合い、将来希望を持って暮らし続けることができる地域にするため、閉店した商店を活動交流拠点として蘇らせ、七川に生育する桜を活用した名所づくりや買い物バスの運用、若者移住者を呼び込む環境整備や情報発信に取り組んでいます。

七川ふるさとづくり協議会 会長

下山 隆正 さん



住民の高齢化が進み、集落の維持が難しくなってきました。若者の力で地域を活性化しようと、地域おこし協力隊に来てもらい、3人の隊員が活動し、活気が出てきました。活動交流拠点には住民が集まり、憩いの場として賑わっています。

今後は、より元気な地域になるよう、空き家を確保するなど移住者の受入にも力を入れていきます。